

保健福祉企画総務課長 様

安全・安心ネットワーク推進室

室長 箕浦 勝宏

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成 25 年 2 月 22 日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	岡山市宇野コミュニティハウス（仮称）新築工事	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
<ul style="list-style-type: none">○ 会議室に、補聴器に直接マイクの音声を配信する機器か、要約者の筆記内容をスクリーンに表示するシステムがほしい。○ 火災、地震等災害時に、緊急事態であることを視覚的に知らせる設備（フラッシュ等）を各室に設置することを要望する。非常灯に警報ランプを附属できるものもある。視覚、聴覚に障害を有する者にどのように伝えるのか、公共施設のありかたとして検討してほしい。○ 非常時の避難経路等について、利用者に周知してほしい。○ 各室の配置の表示は大きいものにしてほしい。	今後の参考にします。	検討します。
	地元の協議会に周知を依頼します。	各室の配置の表示は未計画であり、今後検討します。

- 手摺りに点字の表示をしてほしい。
- 二段手摺りにしてほしい。
- 触知図を設置してほしい。
- 玄関ドアには衝突防止のシールをつけてほしい。
- 所在時間が長い場合、聴覚障害者、視覚障害者が使うIT機器の電源が無くなることがある。自助努力は当然しているが、やむを得ない場合のために、充電用の専用の電源を設けてほしい。また、ソフト面で、協議会の方に、理解と配慮の徹底をお願いしたい。
- 事務室のカウンター部分の窓はできるだけ大きくしてほしい。
- 和室について、車椅子利用者にとっては段差がある方が便利である。検討してほしい。
- 駐車場はないのか。駐車場の確保は当然行っていただきたい。
- また、駐車場からコミュニティハウスの入口までルートの一つ確保し、点字ブロックを設置すべき。
- 点字ブロックは、施設と施設をつなぐものであり、道路からの敷設が必要。少なくとも門からの設置は必要。玄関部分だけなら意味がない。
- 玄関部分の点字ブロック（誘導ブロック）の配置が良くない。スロープ側に誘導すべ

現在未計画なので、検討します。

検討します。

検討します。

玄関のガラスには認識できる色かシール等を設置予定です。

電源はあります。協議会に対しては、意見があった旨を伝え、周知を依頼します。

検討します。

コミュニティハウスには、床段差を設けないのが基本ですが、今後の参考にします。

学校敷地に駐車スペースを確保することについては、教育委員会、宇野小学校と協議します。

点字ブロックの敷設については、教育委員会、宇野小学校とも協議し、総合的に検討します。

点字ブロックの敷設については、教育委員会、宇野小学校とも協議し、総合的に検討します。

変更します。

<p>きであり、段差に誘導しないように変更が必要。</p>	
<p>○ 多目的トイレの便器は、入口の正面の向きにすべきである。</p>	<p>スペースの問題を考慮しながら検討します。</p>
<p>○ 多目的トイレのベビーシートは、ユニバーサルシートにならないか。</p>	<p>広さの関係もありますので調整してみます。</p>
<p>○ 女子トイレ、男子トイレにベビーチェアがあった方がよい。女子トイレの洗面台が2つあるが、1つにしてでもベビーチェアを設置したほうがよい。</p>	<p>検討します。</p>
<p>○ トイレのブースは引き戸にできないか。</p>	<p>検討します。</p>
<p>○ トイレの面台の幅は200mm以上にし、物が十分置けるようにしてほしい。</p>	<p>検討します。</p>
<p>○ 洋室の入口が狭く、車椅子では入れない。広くしてほしい。</p>	<p>検討します。</p>
<p>○ 玄関の可動スロープは、必要なときにはすぐ使えるように、地元と取り決めしてほしい。</p>	<p>地元で周知します。</p>
<p>○ 玄関の段差は不要。雨の吹き込みの問題は、ひさしの設置等で解決できるはず。</p>	<p>検討します。</p>
<p>○ 聴覚障がい者の中には、三半規管に障害を有する方がいる。玄関の靴の着脱用に椅子がほしい。また、立ち上がり補助のために、椅子には手摺りを付けてほしい。</p>	<p>検討します。</p>